

形態 Features

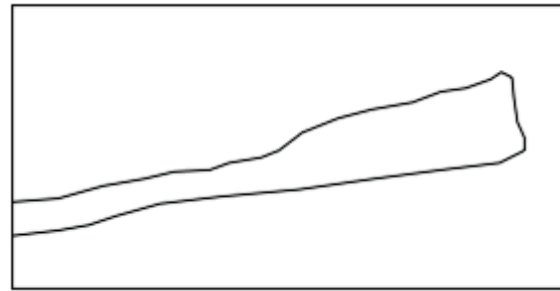
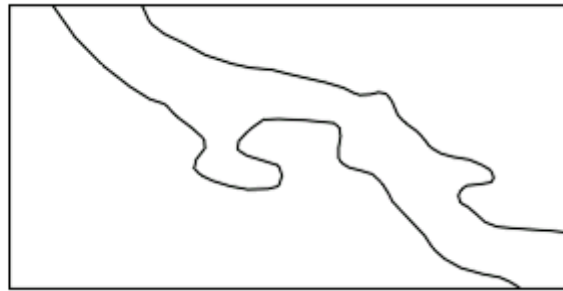
平面 Plan

縦断 Profile

説明

洞壁

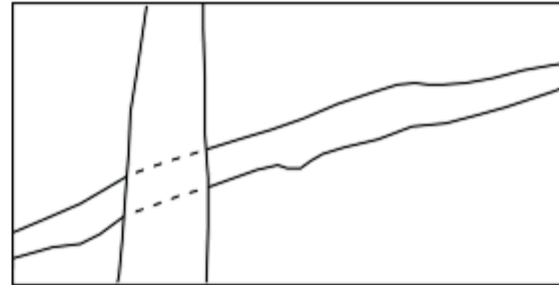
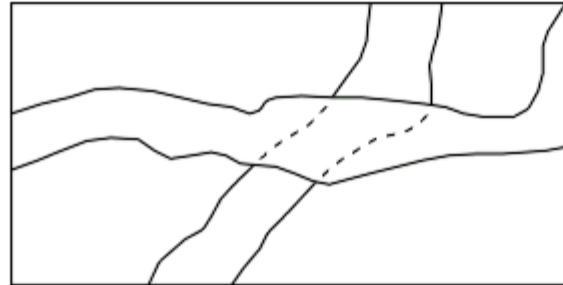
Outline of a gallery



洞壁(Outline of passage): 洞窟通路の範囲を示す。

下層

Underlying galleries

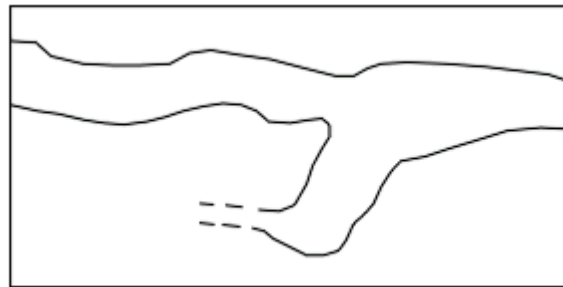


下層(Underlying passages):

上層から下部の区別をつける付加的方法として、上層にくっつく前に下層の線を表すのをやめることを推奨する。下部が見えるとして、空間の大きさを想像する事からこの記号の分類として、破線で描くことを推奨する。

狭洞  
(入洞不能)

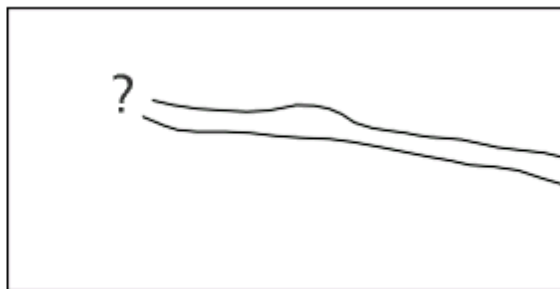
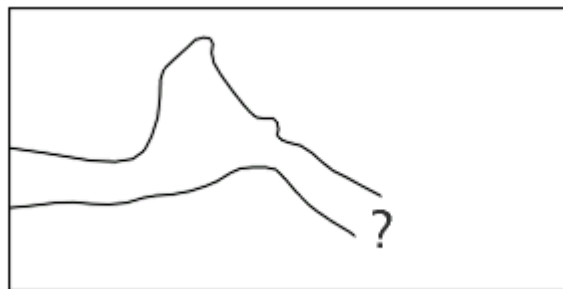
Too narrow continuation



狭洞(入洞不能)(Too narrow continuation): 入洞不可能な通路が続く。

未測量

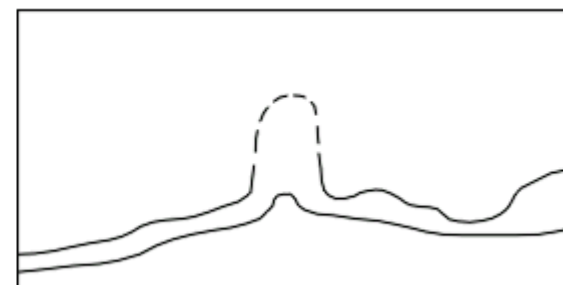
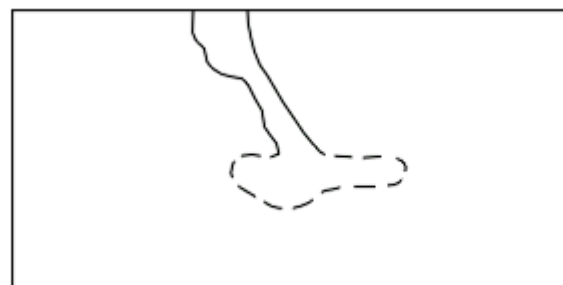
Continuation possible



未測量(Continuation possible): 洞窟が続いている可能性がある場合。

假定洞壁

Presumed dimensions of Space



假定洞壁(Presumed dimension of space):

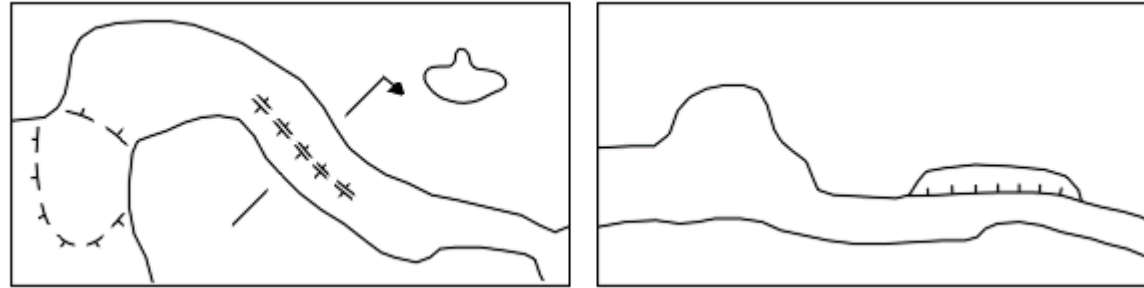
空間の形状を見積もる。長く、幅の狭い空間において示される。

平面 Plan

縦断 Profile

### 天井の形

Ceiling form

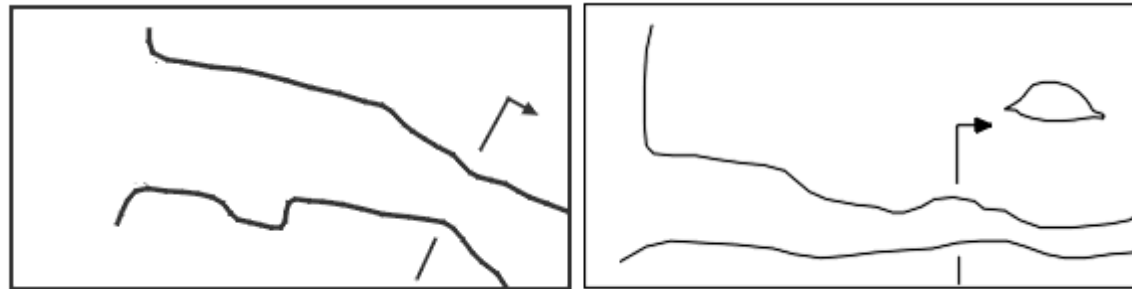


天井の形(Ceiling form):

洞窟の天井の形の記号は、滴下線や煙突状のところでもいつも使われる。

### 横断面(矢印方向)

Cross Section

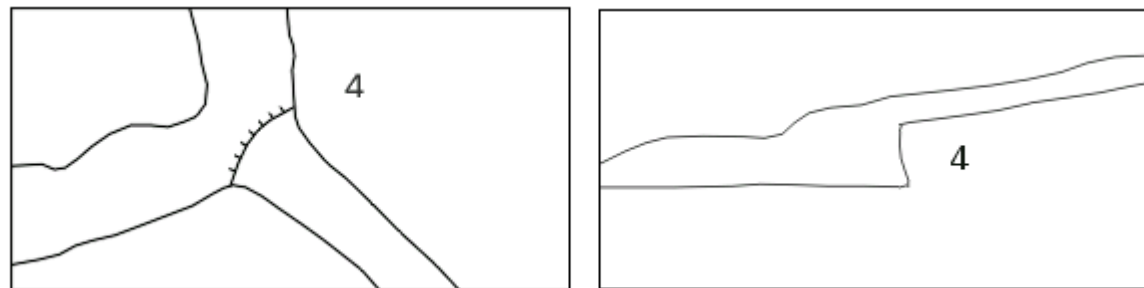


横断面(Cross-section or Profile):

横断面は、通路の状態が解るための最も重要な記号です。各地図において通路の横断面は、描かなければいけない。断面の方向を示す矢印は、区別をされなければいけない。けれども、はっきりと示すことは必要である。

### 床の段差

Step

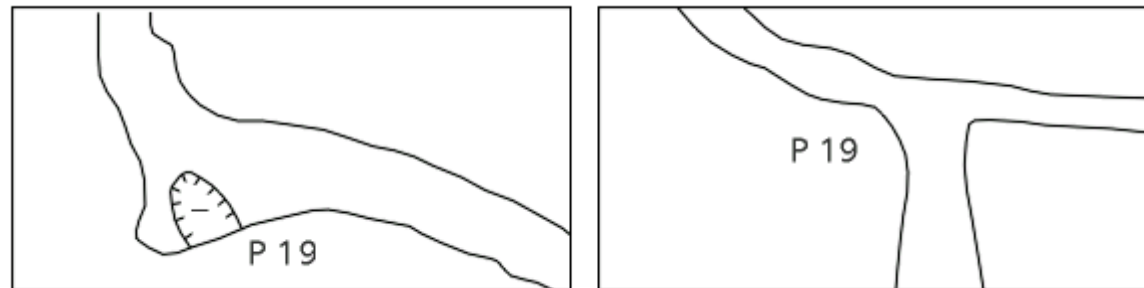


床の段差(Steps):

この記号は、よく知られている。ちょうど小さな障害が、いつも下方修正されることを忘れないことのように。

### 洞内縦穴

Pit(depth in meters)

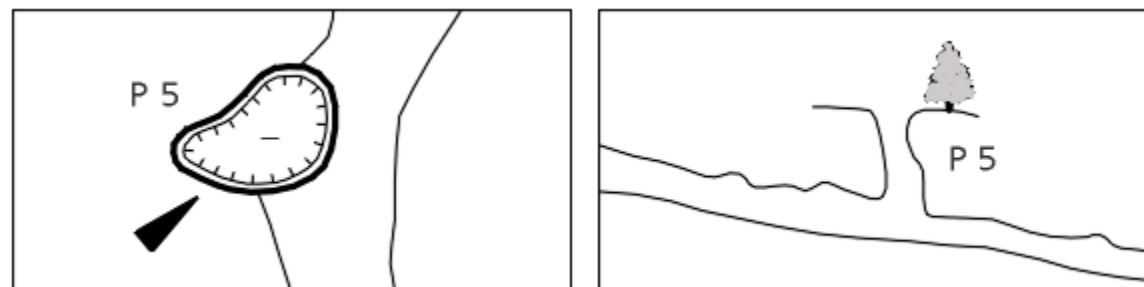


洞内縦穴(Pits):

くぼんでいる穴または落ちているたて穴は、二つの理由のために縁取りの線に替えた。一つ目の理由は、簡単に描く。二つ目として、5mや10m窪んでいるのか、または深い段差か浅い段差を意味しているかどうか多くの製図者が一様にはっきりしてないからです。

### 縦穴洞口

Pit open to surface

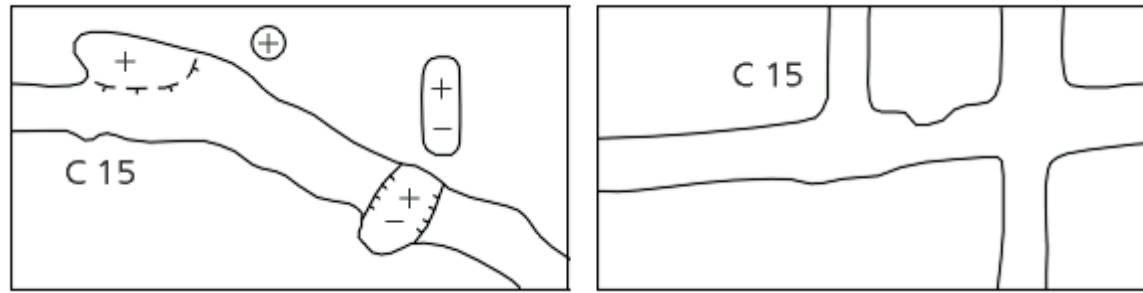


洞内縦穴と同じ。

平面 Plan

縦断 profile

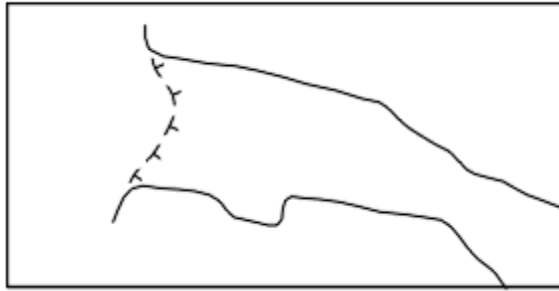
上向き縦穴  
下向き縦穴  
(高さ・深さ)  
Chimney - Chimney-pit



上向き縦穴、下向き縦穴(Ave/Aven-pits):

上又は下の記号は、洞窟の外又は内に描かれる。はっきりとした理由として、記号が洞窟の外に描かれたとき取り囲むべきであるから。我々は、上向き又は下向きの縦穴の深さを示すものとして、次に述べることに同意した。:もし、上向き縦穴が装備なしに上れるなら、高さを描くだけである。もし装備が必要なら、高さの前に記号を描く。この方法で、多くの国が使用することは、重視される。縦断面にロープやアンカーポイントを描くのは、オプションです。

滴下線  
(洞窟の始まり)  
Dripline  
(begining of the cave)

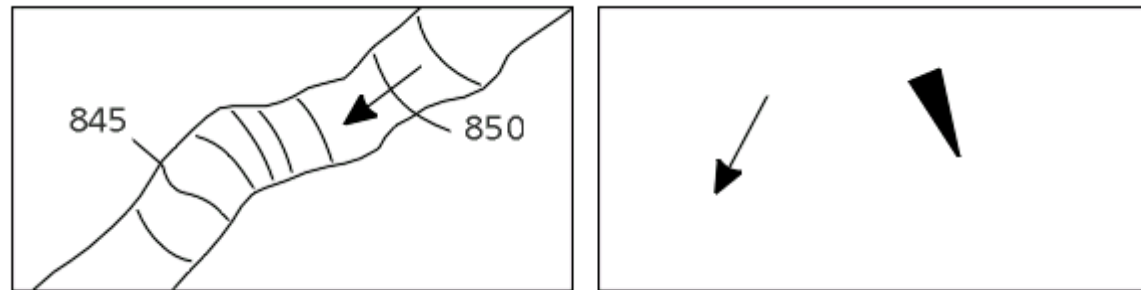


滴下線(Dripline):

滴下線は、とても小さな洞窟やオーバーハングの箇所です。とりわけ様々な情報がわかる。さらに高い天井部分を含む洞窟の真の入り口が描かれ、それゆえ省略すべきでない。滴下線で洞窟は始まる。

平面 Plan

等高線・傾斜  
方向  
洞口の方向  
Contour lines  
(altitude a.s.l)- Gradient  
arrow- Arrow showing  
entrance



等高線(Contour-Lines):

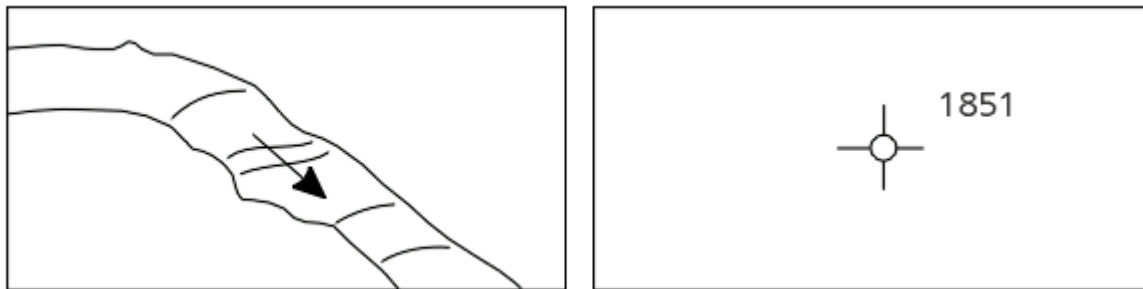
地形図に描かれているように、高度測量による等高線は、めったに使われない。正確な土地の高さは、いつも簡単に確立するものでない。また、正確に描くということは、重大な問題になりうる。傾斜線は、もっとも頻繁に使われる。

傾斜方向(Gradient arrows):

洞窟の中と外における傾斜方向の矢印の差は、省略となった。洞口を示す矢印は、リストに追加された。

平面 Plan

傾斜  
標高  
Gradient lines- Altitude  
above sea level



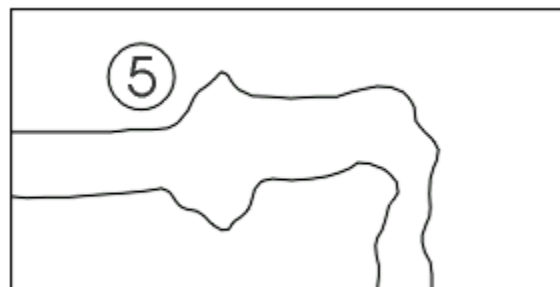
傾斜(Gradient lines):

傾斜線は、洞床の状況を描くのに最も一般的な方法です。地形図のように矢印の間隔は、急勾配や広い間隔の緩傾斜を示す。

標高(Altitude above sea-level):

この記号もまた標高を示すことは、地図でも使われていることや一貫性のある理由でリストにある。1880 mと書くことをおおいに推奨する。ちょうど1880と書かれる代わりに。一般的に地図はすべてSI単位で書かれる。

天井高  
Height of a room



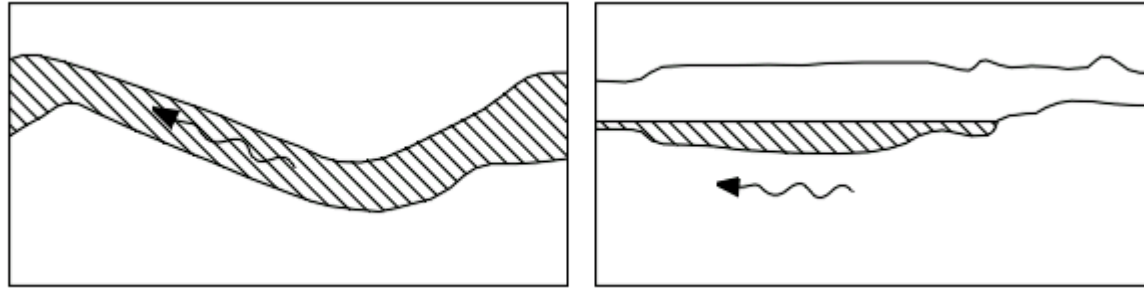
天井高(Height of a passage):

高さの指示は、縦断を描かない調査者が使用できる。しかし、このことが高く推奨されてから、この記号は、ほんのたまにしか使われない。

平面 Plan

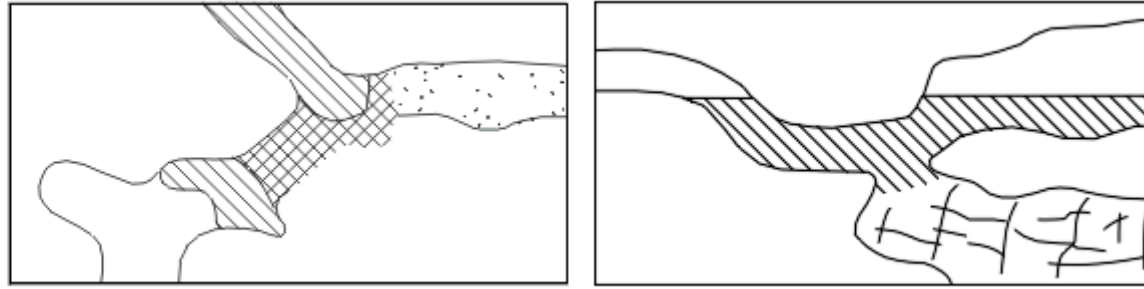
縦断 Profile

水流・湖  
flowing-water- lake



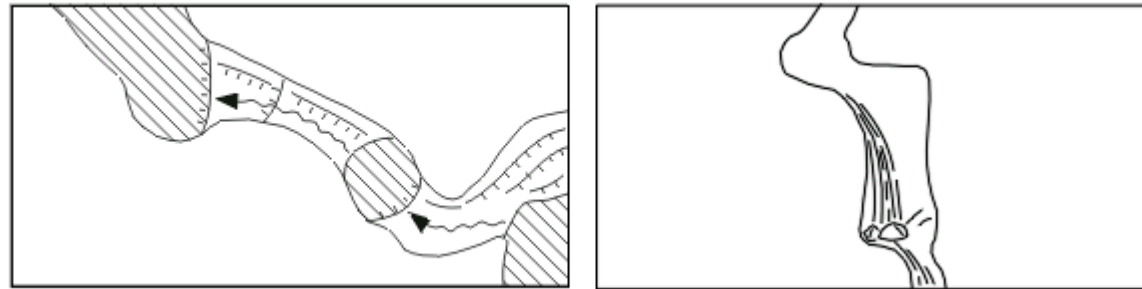
湖・水流(Lake/flowing water): 流れの方向を示す。斜線でのハッチング

サンプ  
Sump



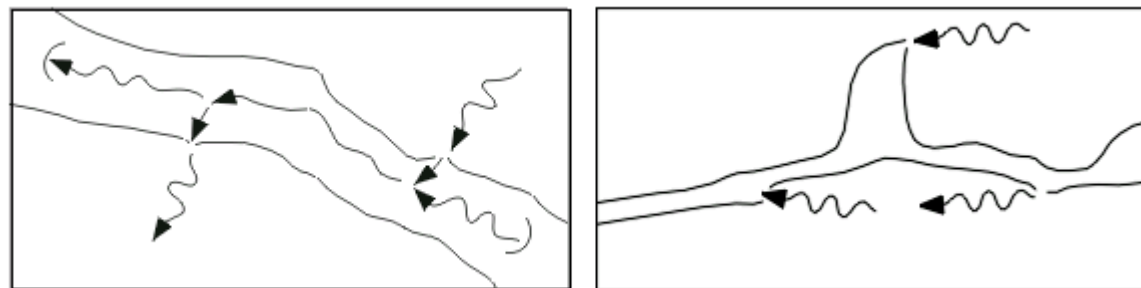
サンプ(Sump): クロスハッチングで示す。  
オプションとして、サンプの特有さを描くのにクロスハッチを使用しなくてもよい。このようにクロスハッチを使用しない例として、特に長いサンプでの使用が見られる。

滝  
Cascade



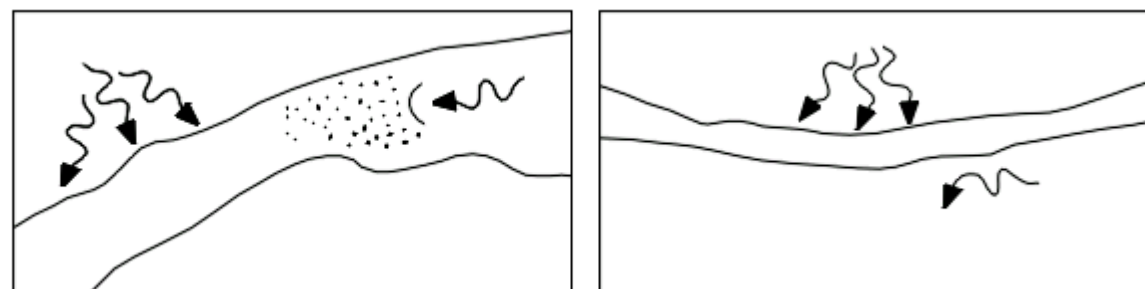
滝(Cascade/waterfall):  
滝の記号は、滴の記号と同じです。水流の記号を示すためには、前か横に流れの方向を示す矢印を描くことができる。

湧水・吸い込み  
Spring-ponors



湧水・吸い込み(Spring/sink):  
地面からの湧水や吸い込みは、通常の水 flow とははっきりと湧水や吸い込みと区別するために半円でマークすべきだが、洞内や洞外への水流の方向である湧水や吸い込みは、特徴を描くうえで半円である必要がない。

洞壁や天井からの湧水  
伏流水  
Widespread water inlet-  
seeping of a water course  
in a sediment



洞壁や天井からの湧水(Widespread water inlet):  
もはや特別な記号ではない。水流の方向を示すのに多くの同方向の矢印を描く必要がある。

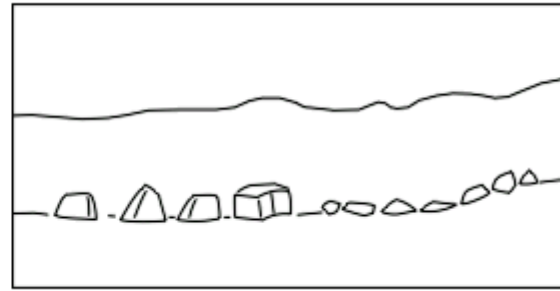
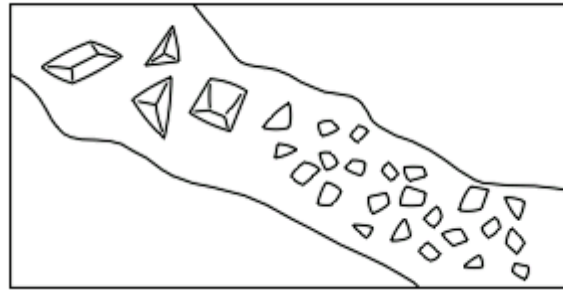
# 堆積物 Deposits

平面 Plan

縦断 profile

岩塊・岩屑  
または角礫

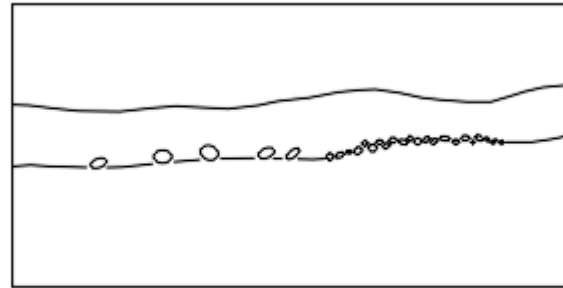
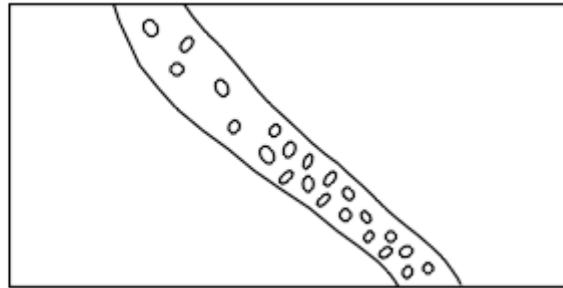
Blocks-debris



岩塊・岩屑または角礫(Blocks/debris): 崩落石、荒石  
大きさは、実物をモデルにすることができる。

円礫

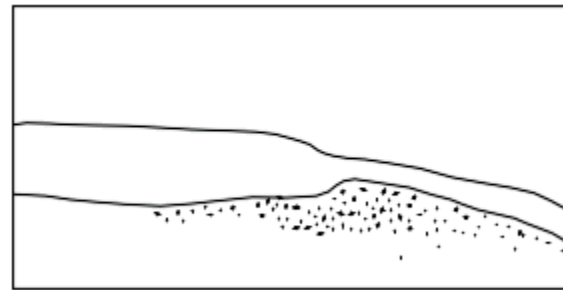
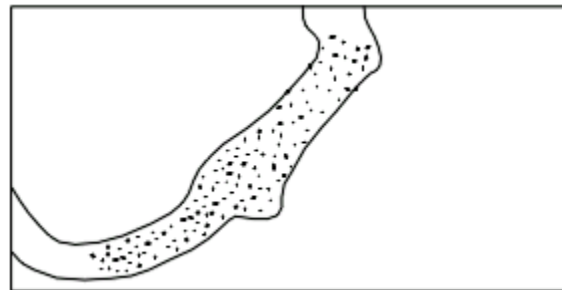
Pebbles



円礫(Pebbles): 玉石、丸石  
大きさは、実物をモデルにすることができる。

砂・泥・粘土・  
腐植土

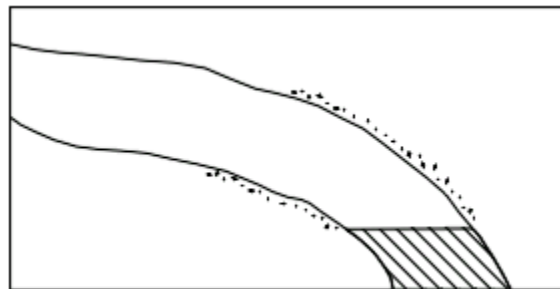
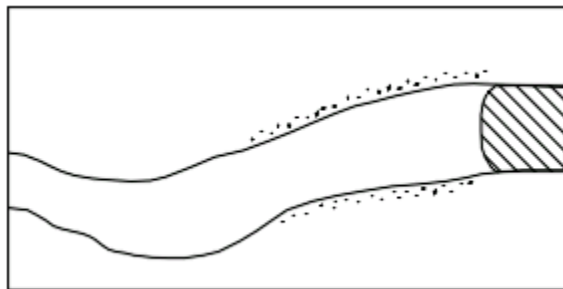
Clastic sediments:  
Sand-Silt-Clay-Humus



砂・粘土・泥・腐植土(Clastic sediments: Sand,silt,clay and humus):  
腐植土を除いたこのグループは、グレインサイズの堆積物です。そして、それゆえ名称は、水流の運搬力次第です。砂は水流で堆積するのに対して泥は滞水で堆積する。これに対比してフローストーンは、化学的沈殿であるため、流速では説明できず化学的平衡で説明がつく。フローストーンが全く頻繁にあるものなので、特別な記号を見いだすことが必要だった。小さい幾筋の堆積物は、それもまた地面の構造を示すので、うまく堆積したものです。不運にも様々な測量者たちは、小さい幾筋の堆積の連続によって、粘土の特質とした。そしてそれは、ある混同を伴って。理由としては、地質学上正しい解釈は、導き出されている。

泥壁

Clay covered walls

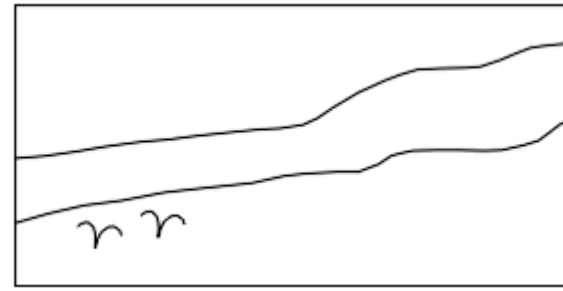


泥壁(Clay covered walls):  
この記号もまた飽和水滞を示すことに使える。泥で覆われていることを示すことは、一つの細い点線が洞窟の壁の後ろに描かれている。

平面 Plan

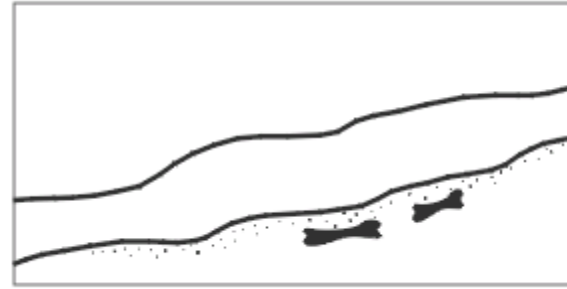
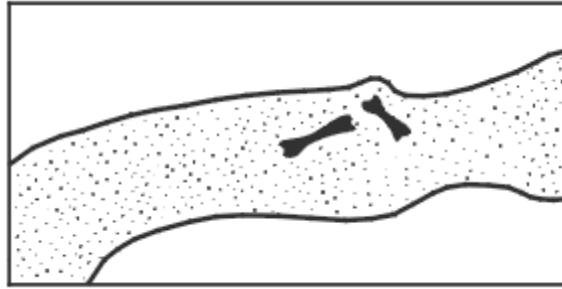
縦断 Profile

グアノ  
Guano



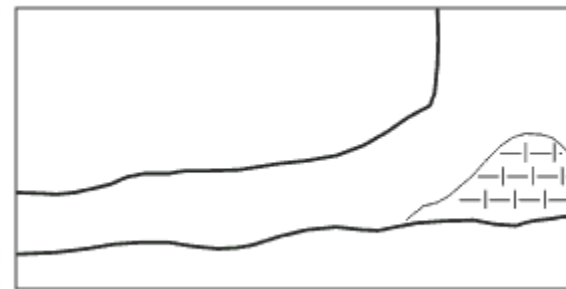
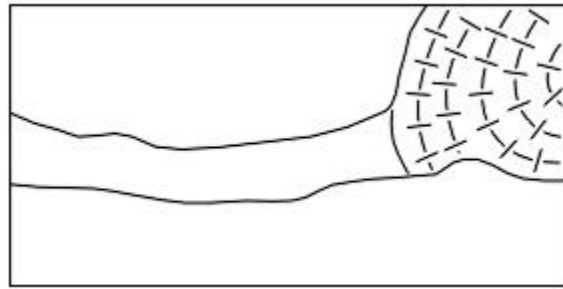
グアノ(Guano):  
コウモリの糞

骨  
Bones



骨(Bones):この記号は、これ以上説明の必要がない。

氷や雪  
Ice-Snow-Firn



氷・雪・万年雪(Ice/snow/firn):

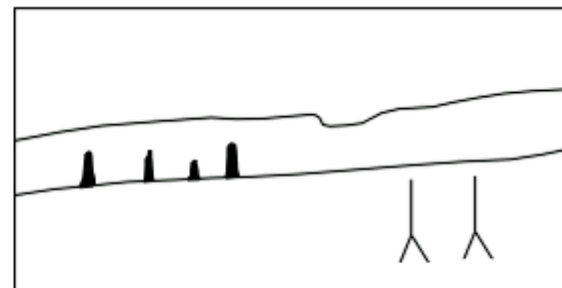
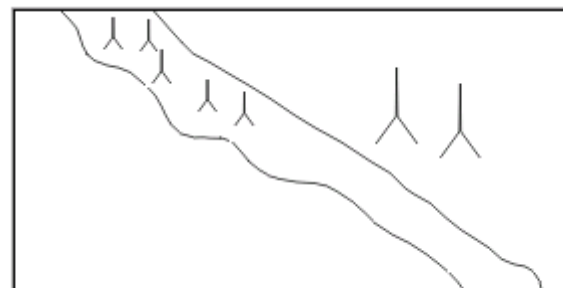
雪マークで使われた古いタイプの星記号は、描くことにかかなりの時間を費やし、地面の構造を表現することができないために、かなりの間満足いくものではなかった。今回追加されたものは、鉱物記号と間違えやすい。氷の古いタイプの記号は、真の勾配線と類似して混乱させている。考慮すべき問題の中にすべてをここに取り上げたことに我々は、次の解釈に同意した。雪は万年雪に形を変え、そしてその後氷へと変化する。形態学や構成物によるとすべて三つの物質は、同じものです。しかしながら、それは、同じ記号で表現されるべきだ。選択された理由としては、描くのが簡単で、地面の構造を表し、そして混乱することがない。

二次生成物 Speleothem

平面 Plan

縦断 profile

石筍  
Stalagmites

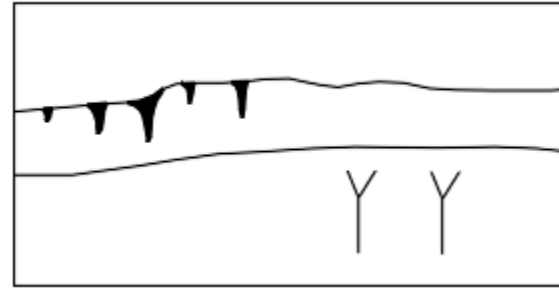
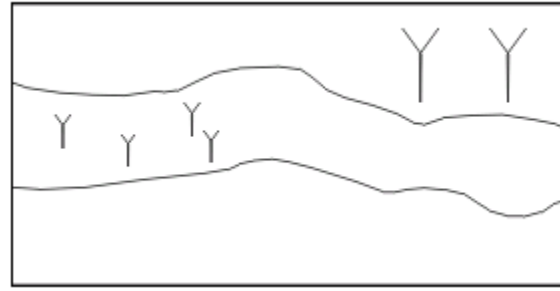


石筍(Stalagmites):  
縦断の記号は、二者択一。

平面 Plan

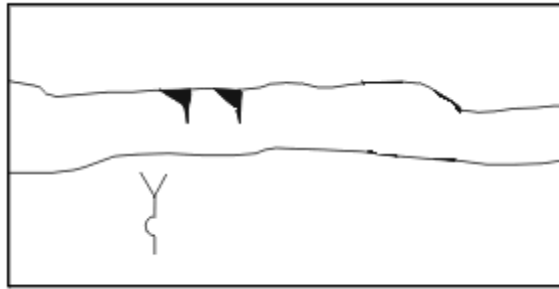
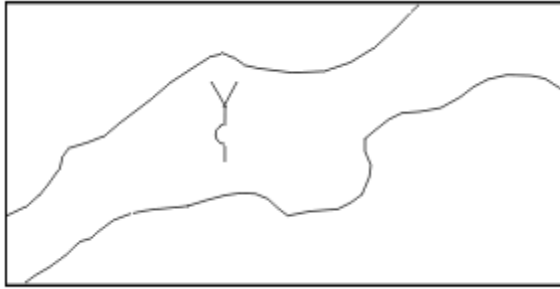
縦断 Profile

つらら石  
stalaktite



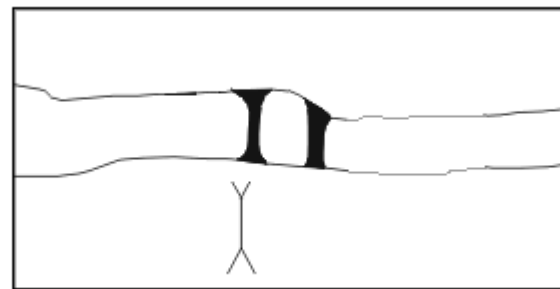
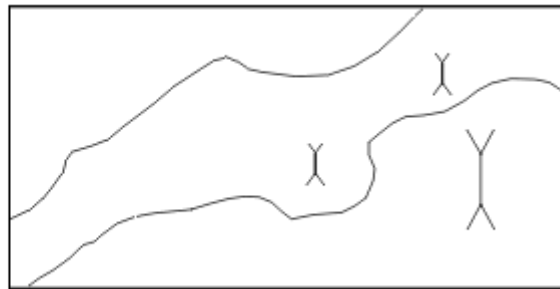
つらら石(Stalactites):  
縦断の記号は二者択一

カーテン  
Sinter curtanes



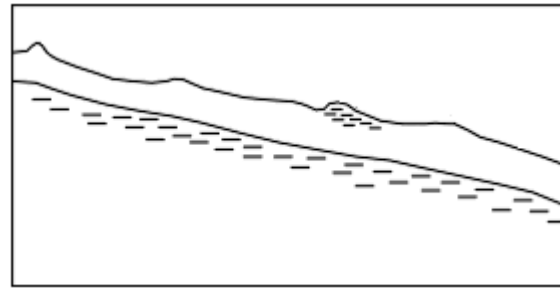
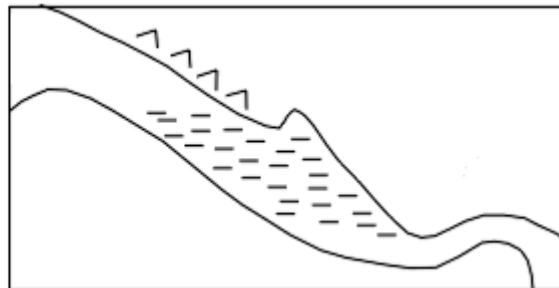
カーテン(Calcite curtains):  
提出された解釈では、一見して簡単に理解できない。しかし、もっとも最良と思われる。(二者択一できにあなたは地図上にカーテンを描く。)

石柱  
Pillars



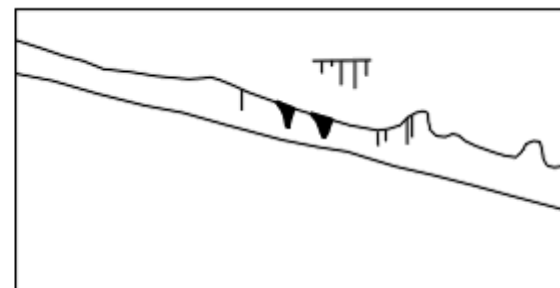
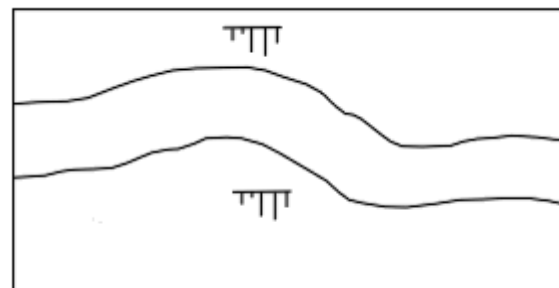
石柱(Calcite pillars):  
縦断の記号は二者択一

フローストーン  
(壁・床)  
Floor sinter-wall sinter



フローストーン(床)(Flowstone):  
しばしば、これか同様の記号はまた粘土記号として使われる。  
フローストーン(壁)(Wall calcite/calcite in general):  
記号は、二者択一

ストロー  
Spaghetties



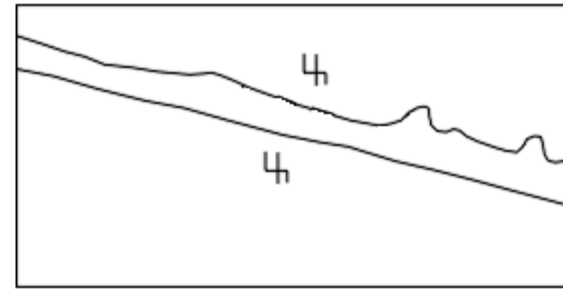
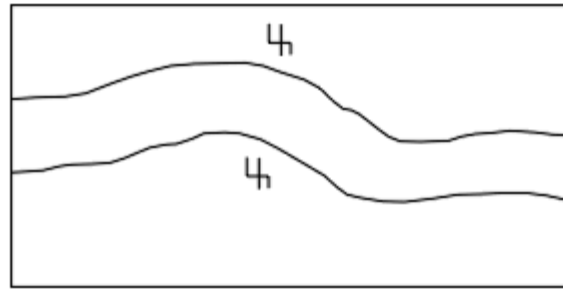
ストロー(Soda Straws):  
この記号は、これ以上の説明は必要ない。

平面 Plan

縦断 Profile

### ヘリクタイト

Helictites

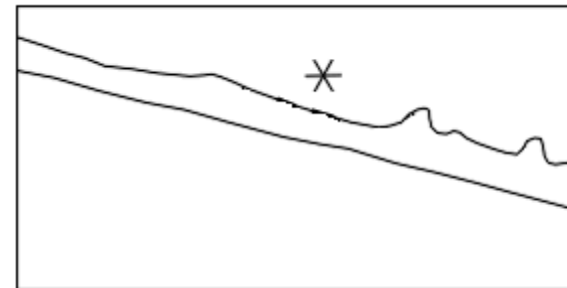
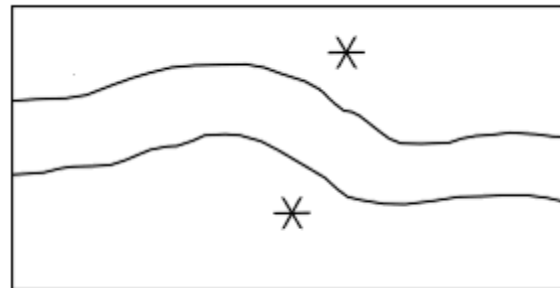


ヘリクタイト(Helictites):

この記号は、その形態やそれゆえに理解しがたいのと同じくらい風変わりです。

### 鉍物

crystals

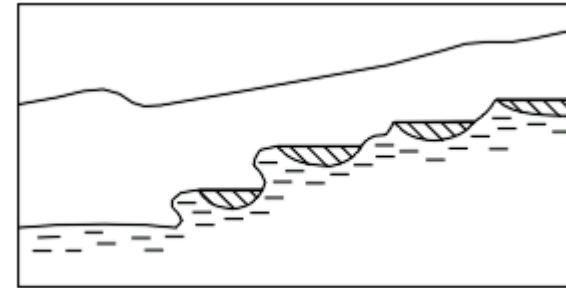


鉍物(Crystals):

国際的に理解されるためには、鉍物を示す文字の使用は避けるべきである。その第1の理由は、鉍物の正確な同定はしばしば思うほどには容易ではないことであり、第2の理由は、英語では方解石は「C」(calcite)で表すが、ドイツ語では「K」(Kalkspat)であり、中国語ではまた異なる文字を用いるからだ。一般に、我々は実際の地図にシンボルとして文字を用いることを勧めない。文字の使用は過度の混乱を招く原因となり、理解を損ねることになる。

### リムストーンプール (大・中・小)

Sinter pools big-Sinter  
pools small

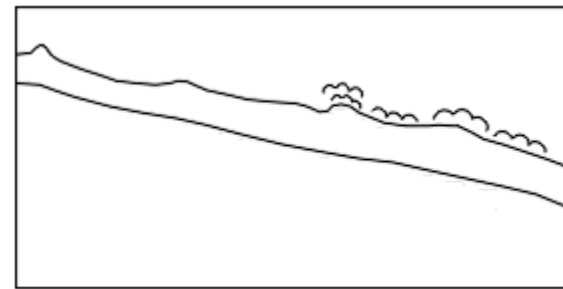
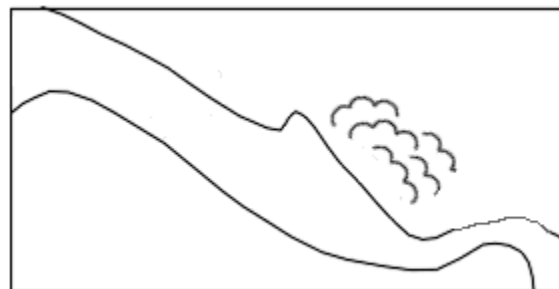


リムストーンプール(Gour pools):

大・中・小とそれぞれに表す。

### ムーンミルク

Moonmilk



ムーンミルク(Moonmilk):

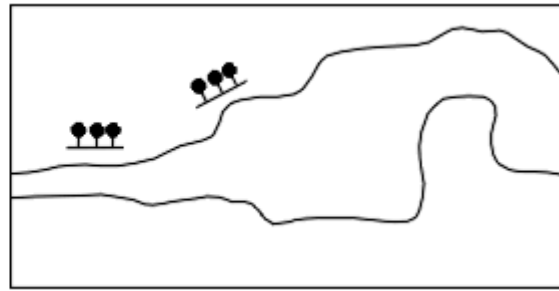
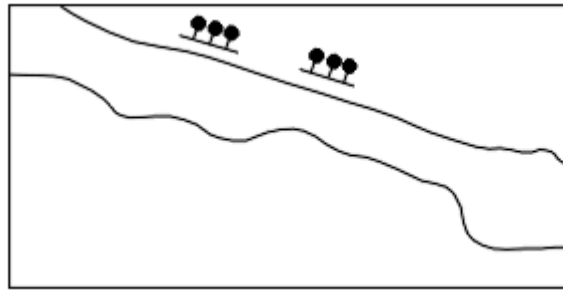
グアノ記号に追加された弓形に対してこの記号の間違いを避けるために、通常 m を加えた



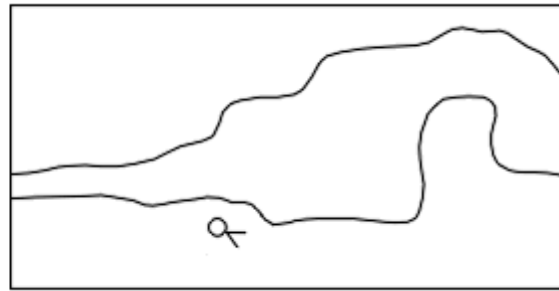
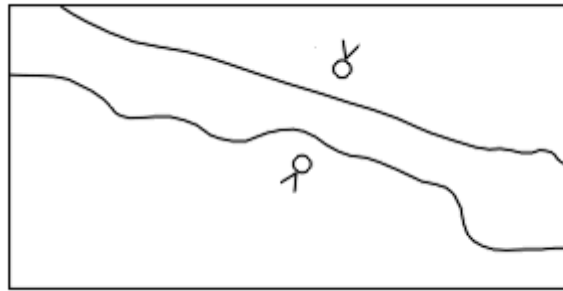
平面 Plan

縦断 Profile

洞窟サンゴ  
Cauliflower-Sinter



シールド  
Disc



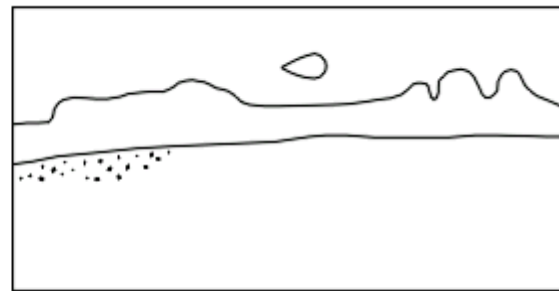
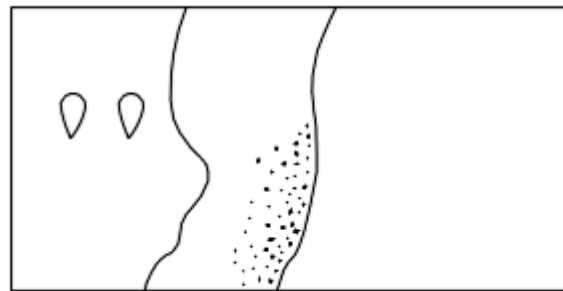
洞窟サンゴ・シールド(Cauliflower-calcite/discs):  
カルサイトとしてのこれら二つの記号は、重要な範囲であり、当たり前に使用できる。

溶食形態 Speleogens

平面 Plan

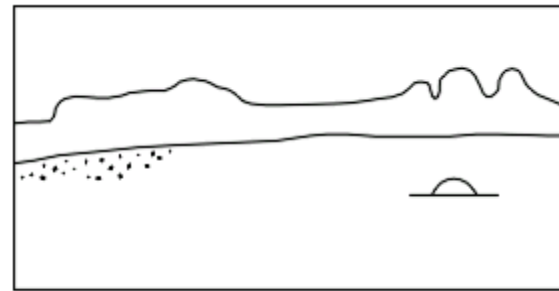
縦断 Profile

スカラップ  
Scallops



スカラップ(Flow casts(Scallops)):  
矢印は省略。

フルート  
flutes in general



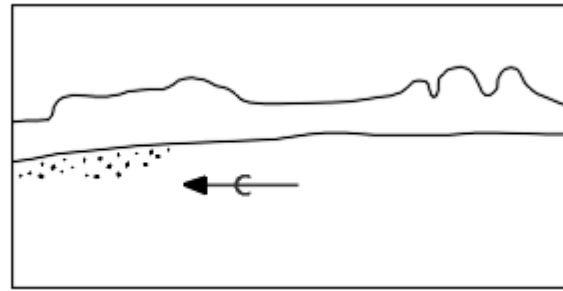
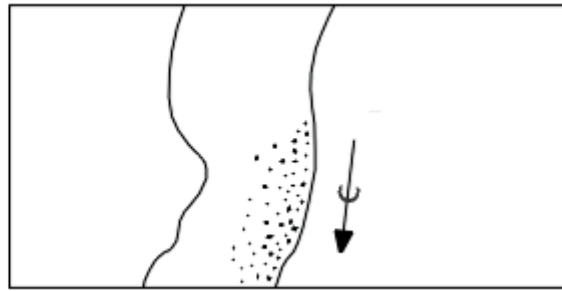
フルート(Flute):  
腐食と侵食の間であって派生したフルートは、省略された。なぜなら、特に側壁にあるフルートで、いつもそれらと正しく同一視できない。新しい記号は、回転上のものである。;もし半円が頭だったら、それは天井にフルートがある等々・・・。

平面 Plan

縦断 Profile

### 古水流の方向

direction of paleoflow

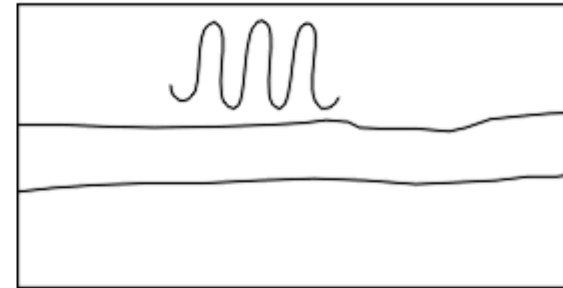
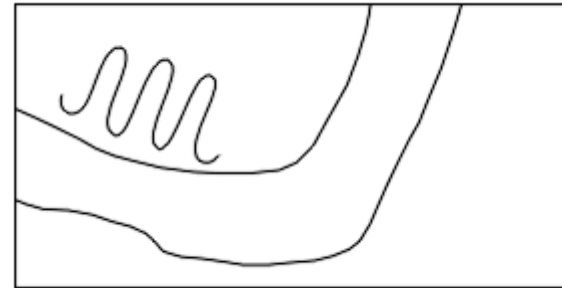


### 古水流の方向(Paleoflow):

このとても便利な記号は、追加された。それは、スカラップ記号と一緒に使うばかりでなく、リップルマークや、鱗形の重なり合いの溶食形態や他の特徴形態でも使う。付加的なものとして、溶岩の流れた方向を示すために、溶岩洞で使用されるかもしれない。

### アナストモシス

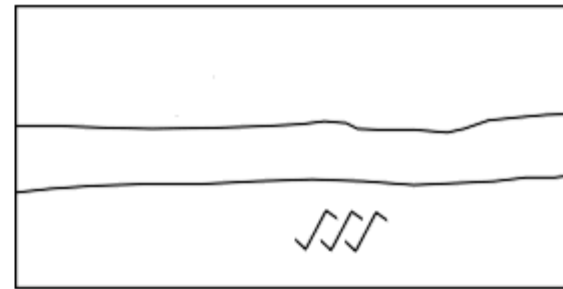
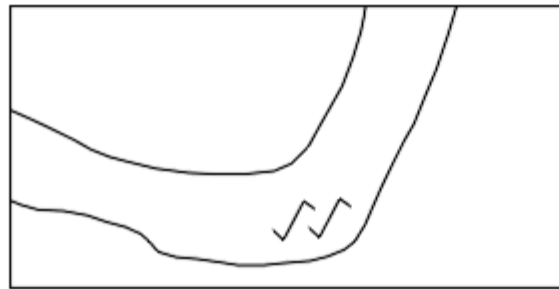
Anastomosen



アナストモシス(Anastomosen): アナストモシス

### カレン

Karren



カレン(Karren): 洞内のカレン

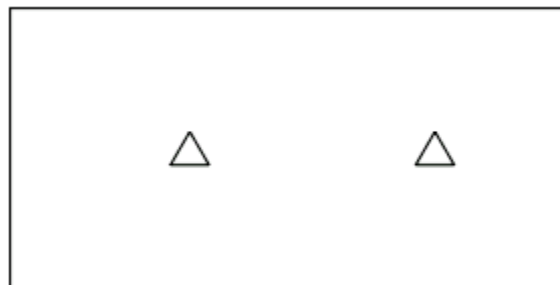
### その他 Other

平面 Plan

縦断 Profile

### 測量ポイント

Survey Points



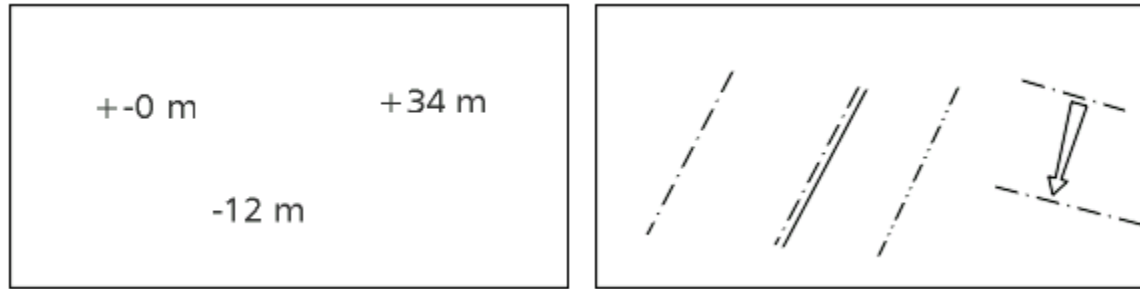
### 測量ポイント(Main survey point):

測量ポイントは、記号リストに示された。しかし、測量ポイントは、しばしば編集段階で書き表さない。下位の等級の測量ポイント記号は削除。

洞口からの比高  
節理・断層・層理面  
矢印は同じ断層を示す

Difference in elevation on-  
joint-Fault-Bedding  
plane-The arrow is on  
the same fault

平面 Plan



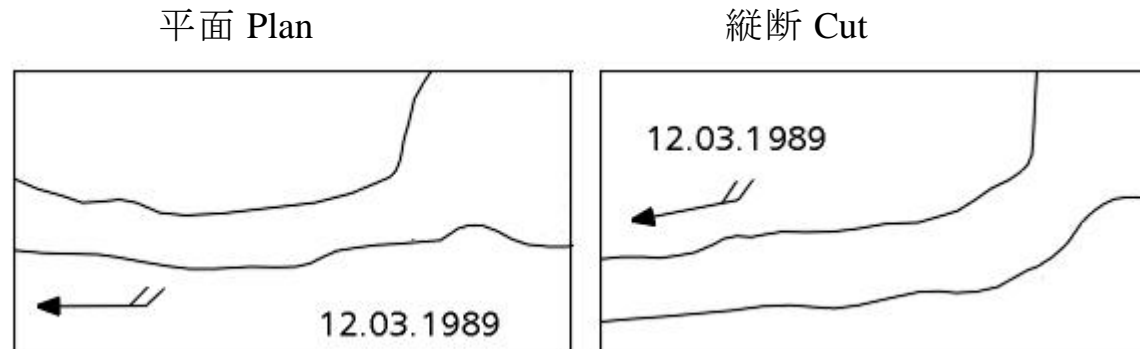
洞口からの比高(Difference in elevation in relation to the entrance):  
洞内のある地点

節理・断層・層理面(Joint,fault,bedding plane):

これらの記号は、洞窟を理解する上でかなり重要である。あなたの国で、地質測量の記号で適切なものがないならここで唯一提案された記号を使用しなさい。もし地質の記号が本質について全く確かでないならいくつかの地質記号を使うことをまた推奨しない。二つの節理を関係づける矢印記号は、普通平面で使われる。洞窟は、様々な節理で縦に切断され、節理そのものの結果かどうかを示す。

気流の方向  
(日付)

Air draught

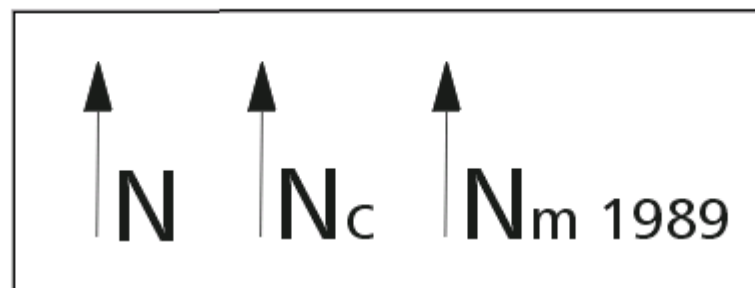


気流の方向(Air draught):

これはよく知られた記号です。いつも計測した日付を示すべきだ。記号は現在、二つの羽をつけた矢印を使う。計測した日付は、一般的に月一日一年の形式で描かれる。

真北  
地図上の北  
磁北(日付け)

Geographic North-cartesian  
North-magnetic North  
(with date)

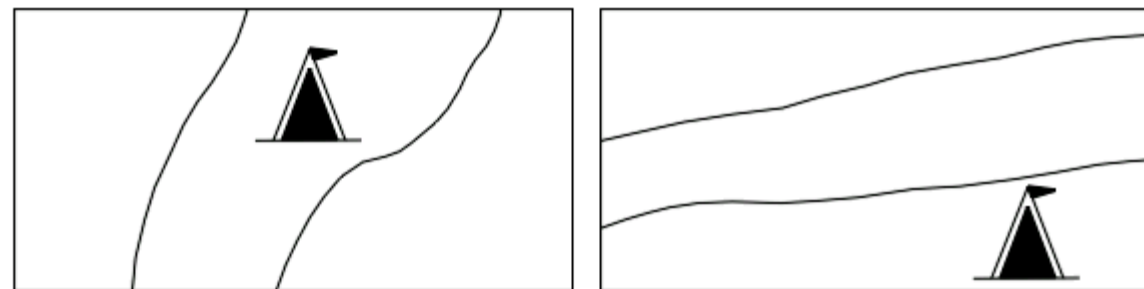


北(North):

多くの地図上で偏角の情報は、間違いであるか、真北への変換計算が十分でない。普通北の矢印の横には、真北か磁北か地図上のものかの関連を明記しなければならない。もし、矢印が磁北に関連付けされているなら、計測した日を必ず明記しなければならない。

キャンプ地

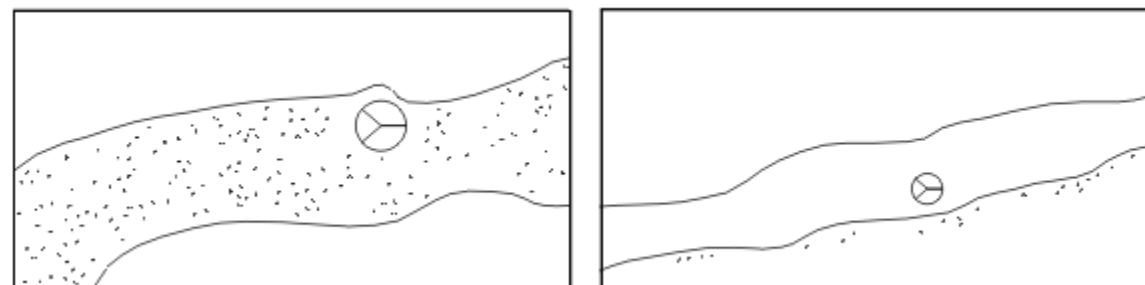
Camp



キャンプ地(Camp): 野営地

遺跡

Human Activity



遺跡(Human Activity):

この記号は、例えばアートワーク、壁画、土器類、古い採鉱跡、人骨などが含まれるが、人類の痕跡、洞窟内の生物痕として使用される。むしろ、歴史的なもの、先史時代のものに使われる。